

作業部会における論点整理

1 払戻率引下

- ・長期的には厳しいが、短期的には払戻率引下げにより延命可能ではないか。
- ・払戻率引下げの幅は、一律一斉導入が望ましい。
- ・ファン離れの影響をどの程度見込むのか難しい。6月から払戻率を70%に引き下げたオートレースでは売上が落ちているように見える。払戻率引下げによる利益の全額を見込むことは危うい。
- ・70%まで引き下げても、売上が10%以上減少すると効果はない。

2 経費削減

- ・期末手当のさらなるカットなど、給与制度（再任用を含む）の見直しが必要。
- ・ボーナスは削るだけでなく、計画を上回る収益があった場合には上乘せするようなインセンティブが必要。
- ・賞金、諸手当を収益と連動させるような仕組みが必要。
- ・売上の少ない日を中心に開催日数を減らし、他場売りを伸ばせば収益増になる。

3 継続のための条件

(1) 収支

- ・累積赤字は、最終的に構成団体の財務内容に悪影響を及ぼすことになるため、これ以上の累積赤字の増加は許容できない。
- ・26年度からの払戻率の引下げまで「赤字を許容」することは、モラルハザードになる。

(2) 施設への投資

- ・公共的施設である競馬場の安全確保は最優先されるべきであり、耐震工事は必要であろう。

- ・大規模な設備投資は、直接投資額だけでなくその後の減価償却費+維持費が必要であり、少なくとも単年度黒字1億円以上を継続することが確実に見込まれない限り困難ではないか。
- ・長期的に経営を安定化させるためには大規模な設備投資が必要となるが、行政として公営ギャンブルへの投資が無理であれば長期的な経営は難しいだろう。

4 弥富移転の可能性

- ・「移転+ナイター」は門別と同様のケースだが、ナイター後発・アクセス劣化等のネガティブ要素から、営業成績は移転悲観シナリオを下回ると想定される。その場合、スタンド設備費償還や累積債務の返済は難しいのではないか。
- ・ネットの利益幅は小さい。本場・場外の売上げはかなり下がるだろうが、それをネットだけで支えられるか疑問。
- ・弥富移転は資金面から難しく、想定から外しても良い。
- ・年齢別推計人口からすると、長期的には売上が減ることは確実であり、償還を考えると、スタンド建設やナイター設備など大きな設備投資はできない。

5 ネット需要見込

- ・今後の販売動向は、将来推計人口や年齢別購入状況等から、50歳代のネット参入余地はまだある。

6 ガバナンス

- ・競馬関係者と経営状況の情報を共有し、収支改善への取組みを競馬関係者と一体となってまとめ上げる組織を競馬組合が作った方がよい。